



これらの行動を通して、  
持続可能な社会づくりに  
貢献します。

## ワーク・ライフを 充実させる 便利グッズコンテスト

活動時期 2019年8月1日～9月20日

活動場所 日比谷アメニス本社他 各事業所（東京都港区三田 他）

社内でのワークライフバランス（以下、WLB）の充実を推進するWLBプロジェクトの取り組みの一つとして、「便利グッズコンテスト」を開催しました。ワークライフの向上に役立つ便利グッズを身近なところから発掘することをテーマに、社員のみんなが普段取り入れている業務の時短や健康づくりに役立つグッズを募集。応募されたものの中から社員投票によって多くの指示を集めたグッズをセレクトし、表彰するコンテストです。

### 活動の目的

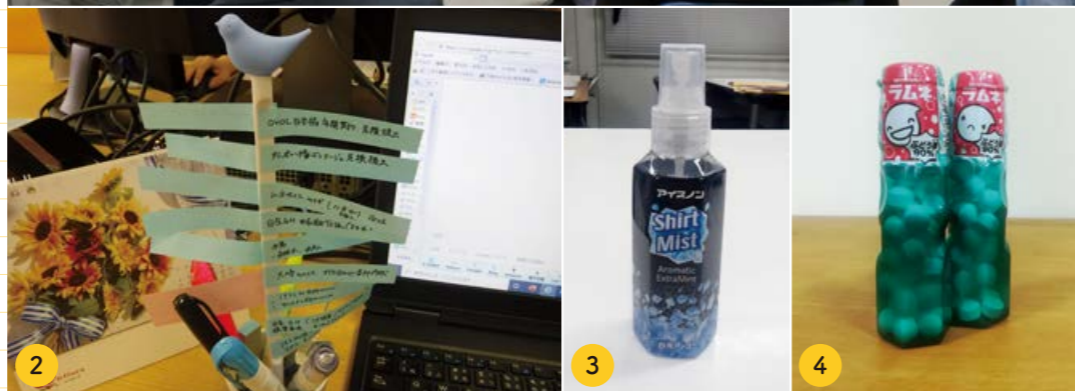
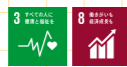
効率よく働き、心身ともに健やかに暮らす。社員一人ひとりのワーク（仕事）とライフ（生活）の両面を充実させていくことは、社員にも会社にも様々な好影響を与えることにつながります。社員のアイデアによる社員参加型のコンテストを実施することで、その意識や知識が社内に広く浸透することを目指しました。

### 取り組み成果

コンテストには、多くのWLB向上に役立つ便利グッズの応募がありました。仕事効率化に役立つものから、健康維持に活用できるものまで、ユニークで興味深いグッズが並ぶ中、社員の投票によって各賞が選ばれ、明日からの仕事やプライベートのために役立つグッズの情報を社員みんなで共有しました。

### 今後の目標・課題

地道なプロジェクトの継続によって、WLBへの意識は着実に高まっています。ただ一方で、繁忙期の残業削減といった課題もあるのも事実です。これからも社員のアイデアを積極的に取り入れながら、社員のワーク・ライフの充実や生産性の向上を目指してWLBプロジェクトを推進していきます。



- 1 便利グッズコンテストの表彰式の様子。
- 2 メモが整理できて見た目もかわいい「業務効率部門賞」のふせんタワー。
- 3 夏場の現場監督の業務効率を改善！「健康部門賞」のジャムミスト。
- 4 リーズナブルにエネルギー補給！「コス部門賞」のラムネ。
- 5 WLBの啓蒙を行う WLBウィークのポスターデザイン。
- 6 表彰式とともに行われたパネルディスカッション。

様々な年代・立場の社員がワークライフバランスについての意見を出し合いました。



GPS 測量器械を使った測量の様子。

## GPS を利用した測量、 生産性の向上

活動時期 2019年6月20日～2020年2月28日

活動場所 晴海ふ頭公園（東京都中央区）

これまで、現場管理を行うには測量（位置出し/丁張）に多くの時間を費やす必要があり、現場での作業時間の大部分を占めていました。この測量を効率的に行う方法として、新たにGPSを利用した測量を導入しました。従来の場合、まず器械を設置し、基準点を2点以上視距してから器械点を求めて測距していましたが、GPS測量では器械を設置する必要がなく、また基準点を視距する工程を省けた分、すばやく効率よく測量ができるようになりました。

### 活動の目的

GPSの導入によって短縮できた時間の二次的利用として、書類の整理や休憩などに費やせる時間的な余裕が生まれました。この相乗効果によって、作業や時間に追われることなく、よりきめ細やかな現場管理を行うことを目的としています。

### 取り組み成果

特に、高い精度が求められるケース（一次掘削、電線管敷設等）の測量では、GPS活用が非常に有効な方法であることがわかりました。現場で働く作業員も丁張待ちの時間が少なくなったことで、作業全体の効率化も図れました。

### 今後の目標・課題

GPSによる測量は画期的な手段の一つですが、全体的な作業量に占める割合はそれほど大きくありません。最近ではITを活用して現場管理を行うケースも増える中、造園工事に見合うものがまだ少なく、少量多工種という造園工事に対応した取り組みが今後の課題です。



当社の社員が先生となって出張授業を行います。

## 芝浦小学校での 総合学習の授業実施

活動時期 2018年6月20日・10月16日

活動場所 港区立芝浦小学校（東京都港区芝浦）

“身近にあるみどりについて学びたい”という芝浦小学校からの依頼で、3年生の総合学習の時間に出張授業に向きました。①樹木のちがいをを見つけるには②植物の増やし方について③みどりの効果の紹介についてという3つの授業を通して、みどりがあることで地域の価値が高まり、たくさんの生物が都市の中で生きられるようになること。快適なまちの空間とみどりには重要な関係があることなどを子供たちに伝えました。

### 活動の目的

学校の周りに当たり前のようにあるみどりが「人のためにどのように役立っているのか」や「まちの中で暮らす生き物にどのように役立っているのか」といった内容をテーマに、子供たちの理解を深め、街のみどりの大切さを伝えることを目的としました。

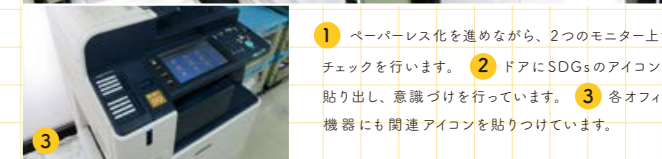
### 取り組み成果

まちのみどりの価値や大切さを、小学生にどう伝えれば良いのかと試行錯誤しましたが、クイズや観察を織り交ぜながら楽しく授業を行うことができました。後日、感謝の言葉と「木についてもっと調べたい」と書かれた手紙をいただき、大きなやりがいと達成感を実感しました。

### 今後の目標・課題

“都市の限られたみどりを活用して土地の価値を高めること”が、住み続けられるまちづくりや都市の生物多様性に貢献していることを、SDGsにもある「⑩住み続けられるまちづくりを」「⑯陸の豊かさを守ろう」という国際的目標に重ね合わせながら発信していきたいです。

活動実施会社 株式会社 グリーバル



- 1 ペーパーレス化を進めながら、2つのモニター上でチェックを行います。
- 2 ドアにSDGsのアイコンを貼り出し、意識づけを行っています。
- 3 各オフィス機器にも関連アイコンを貼りつけています。

## 経理部におけるSDGs 貢献 ペーパーレス化の推進

活動時期 通年（SDGsのアイコン貼り出しは2018年8月～現在）

活動場所 東京都港区三田 他 日比谷アメニス本社他 経理作業を行う各事業所

経理部では、SDGsに貢献できる活動として、部内で使用する書類には裏紙を利用し、紙で書類を保管しなければならない場合は両面印刷を利用して用紙を節約しています。資料は出来る限りPDF化しハードディスクに保管。2つのモニターでダブルチェックを行い不要な印刷は控えています。重要書類以外の用紙を破棄する場合も、紙繊維が破壊され再利用が難しくなるという理由からシュレッダーの利用は控えるなど、日々小さな活動を積み重ねています。

### 活動の目的

経理部で扱う書類は部内秘・社内秘が多く、シュレッダーで破棄していたものが多くありましたが、その中にも部内なら再利用できる裏紙も多くありました。これらを活用しコピー用紙の節約を図るなど、業務の中でできるSDGsへの貢献活動を大切にしています。

### 取り組み成果

当初は経理部内一人ひとりの活動としてスタートしましたが、裏紙の利用、両面印刷、シュレッダーの使用不可などを全体で徹底しながら、オフィス内にSDGsのアイコンの貼り出しも行うことで、やがてチームとしての意識も高まってきました。

### 今後の目標・課題

経理部の業務では、作業の効率化を優先するとどうしても紙を必要とするケースが増えてしまいます。どうすれば、紙を使わず、しかも効率的に作業を進められるかを検討するなど、効率性と環境性の両面を高められる手段を追求して今後も取り組んでいます。

